

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が308例(男性159例(10歳代16例, 20歳代37例, 30歳代20例, 40歳代23例, 50歳代25例, 60歳代13例, 70歳代10例, 80歳代9例, 90歳代1例, 年齢非公開5例), 女性143例(10歳代15例, 20歳代22例, 30歳代20例, 40歳代29例, 50歳代13例, 60歳代15例, 70歳代9例, 80歳代13例, 100歳以上1例, 年齢非公開6例), 性別及び年齢非公開6例)あり, 本年の累積報告数は7,498例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(60歳代男性)ありました。本年3例目の報告となります。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **レジオネラ症**(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり, 症状は発熱, 肺炎, 食欲不振です。感染地域は国内, 感染経路は塵埃(じんあい)です。本年の累積報告数は9例となりました。
レジオネラ症の原因菌のレジオネラ属菌は, 冷却塔・給湯系などの水系に生息する他, 土壌等の自然界に常在するため, 菌に汚染された粉塵等を吸い込むことでも感染します。なお, ヒトからヒトへの感染はありません。
- ・ **梅毒**の報告が2例(50歳代男性及び40歳代女性)(第19週追加報告分含む)あり, 感染経路はいずれも性的接触です。本年の累積報告数は24例となりました。
- ・ **百日咳**の報告が1例(20歳代女性)あり, 症状は持続する咳, 夜間の咳き込みです。本年の累積報告数は3例となりました。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.47(149例)となり, 前週の2.56(110例)から大きく増加しました。現在, 非常に多い発生状況と考えられます。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例)
【1月以降の累積報告数 98例(肺結核 36例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 27例)うち喀痰塗抹陽性 14例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 308例**【1月以降の累積報告数 7,498例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 24例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

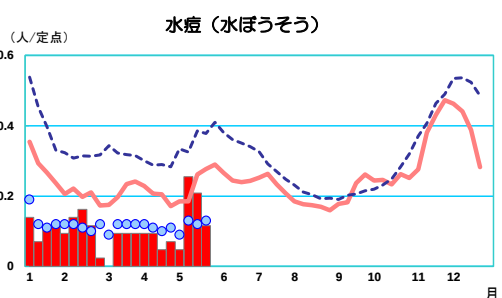
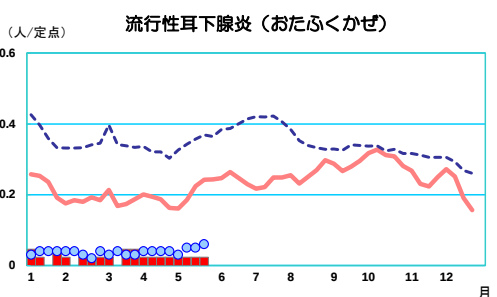
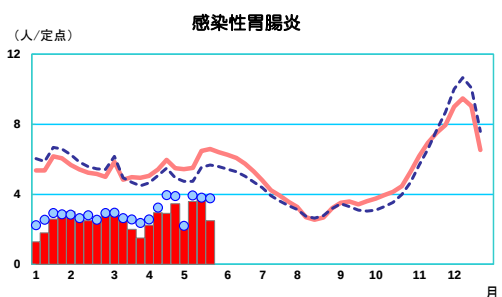
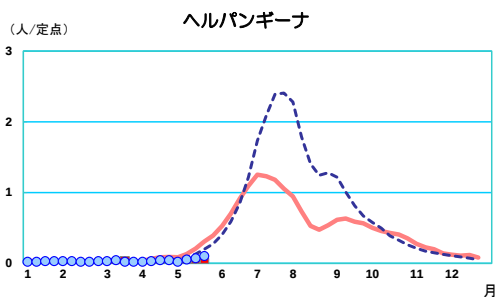
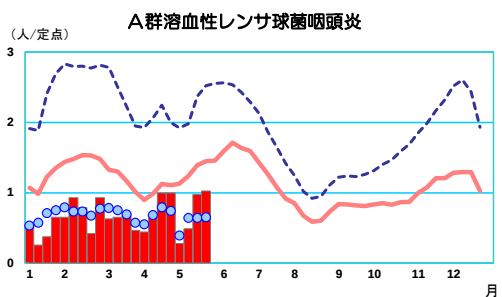
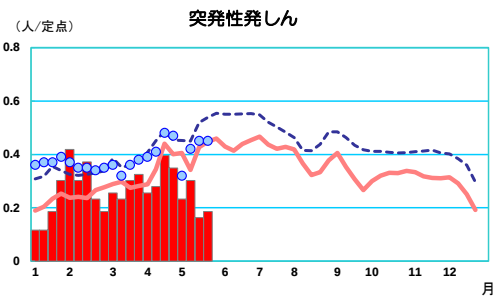
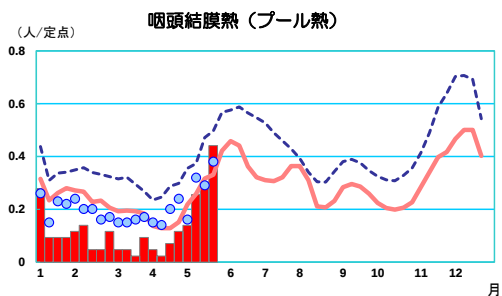
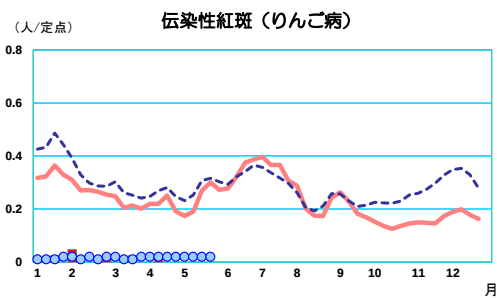
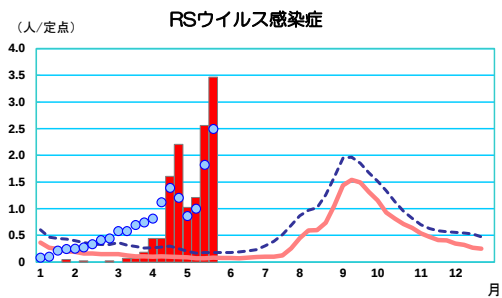
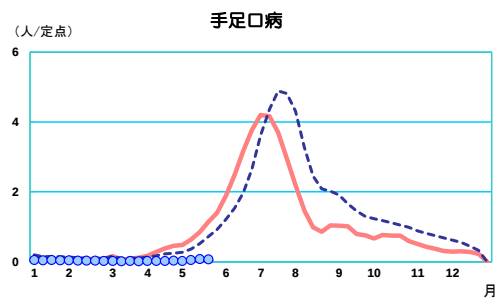
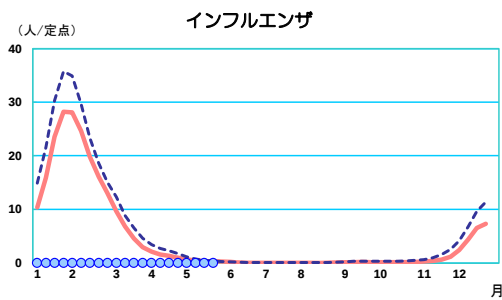
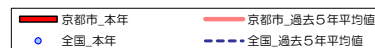
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 00	0
小児科	① RSウイルス感染症	3. 47	149
(降順5位まで)	② 感染性胃腸炎	2. 49	107
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 02	44
	④ 咽頭結膜熱	0. 44	19
	⑤ 突発性発しん	0. 19	8
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

【次ページ以降の主な内容】

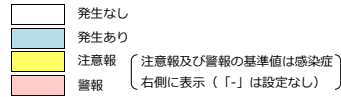
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年6月2日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

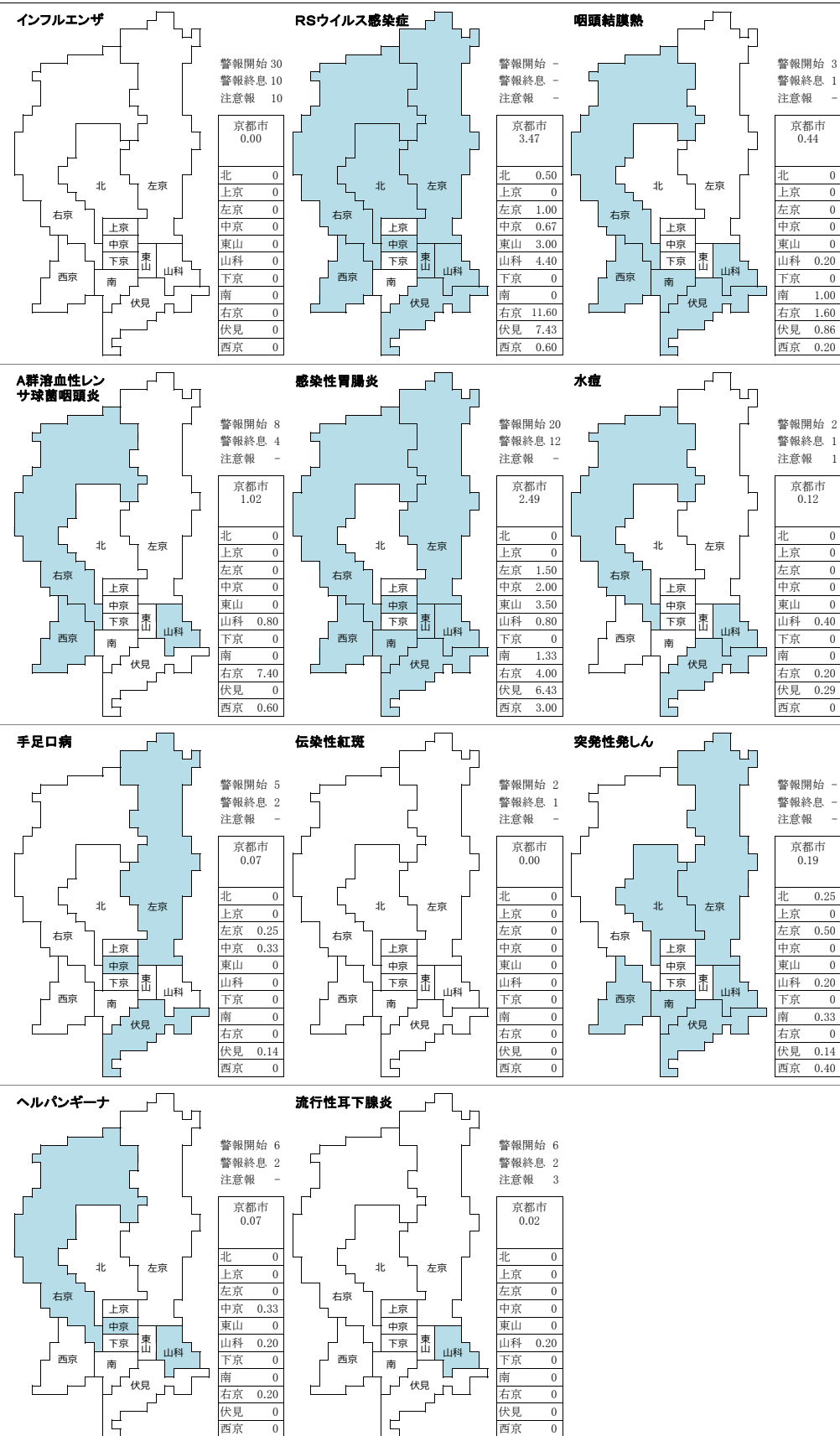
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第21週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第21週(5月24日～5月30日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.47(149例)となり、前週の2.56(110例)から大きく増加しました。大型連休の影響で、第18・19週は報告が少なかったものの、それ以降、急激に増加しています。第14週以降は8週続けて流行閾値(過去のデータから算出した値で、それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)を上回っており、非常に多い発生状況と考えられます(図1)。

全国の発生動向は、今週の定点当たり報告数が2.49(7,818例)で、京都市同様に前週1.82(5,735例)から大きく増加し、第10週以降、12週に渡って流行閾値を超えて推移しています(図2)。

京都市及び全国の過去10年と本年の発生状況を比較すると、過去10年は流行期とされている夏から秋にかけては、年ごとの報告数のバラつきは大きいですが、非流行期とされている3月～6月は、どの年も総じて報告数が少なく、バラつきも少なくなっています。本年は、非流行期であるにもかかわらず、全国では第5週頃から、京都市では第14週頃から、例年と明らかに異なる推移を示しています。過去10年で最も多かった定点当たり報告数は、京都市では2.90(2015年第50週)で、今週の3.47はそれを上回っています。全国では最高値3.45(2019年第37週)には達していないものの、過去の週別の値と比較してもかなり多い発生状況と言って差し支えありません(図3)。

全国の発生状況を都道府県別にみると、大型連休前は九州地方で連続して5を超える県が複数見られるなど、流行と言える状況が続いていました。大型連休後はやや減少が見られますが、それに代わるように近畿・東海・北陸地方で報告が急増しており、近隣府県では、奈良県10.65、石川県8.10、富山県7.10、福井県6.87、大阪府5.03となっています。他の地方では、山口県で11.04、静岡県・大分・山形各県で5を超えています(表1、図4)。

かなり多くの報告が全国の広い範囲から、特に近隣府県から寄せられていること、増加の速度が速いこと及び京都市の推移から、京都市でも流行とみられる状況と言えます。それに加えて、少なくともこの10年間は今の時期には流行がなかったことを合わせて考えると、例年の流行期以上の強い警戒が必要です。今後の推移にも十分注意して下さい。

図1 京都市の定点当たり報告数の推移

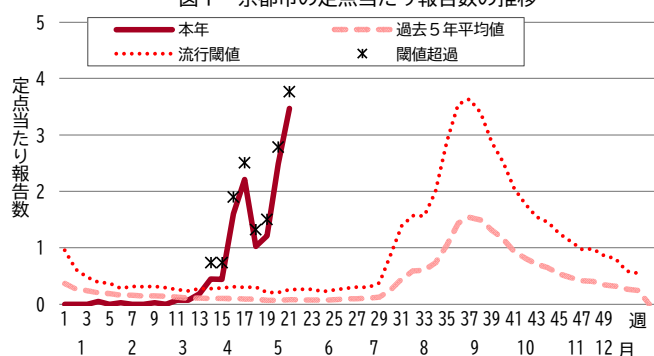


図2 全国の定点当たり報告数の推移

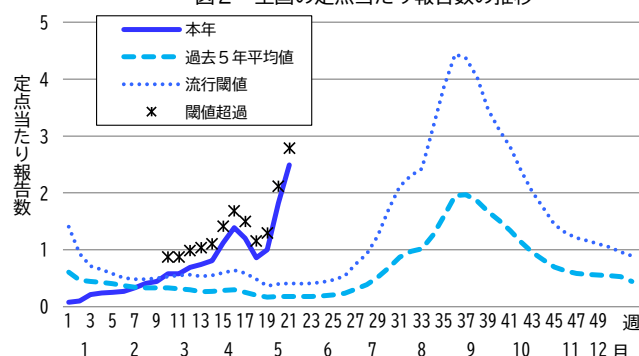


図3 京都市及び全国の過去10年及び本年の推移

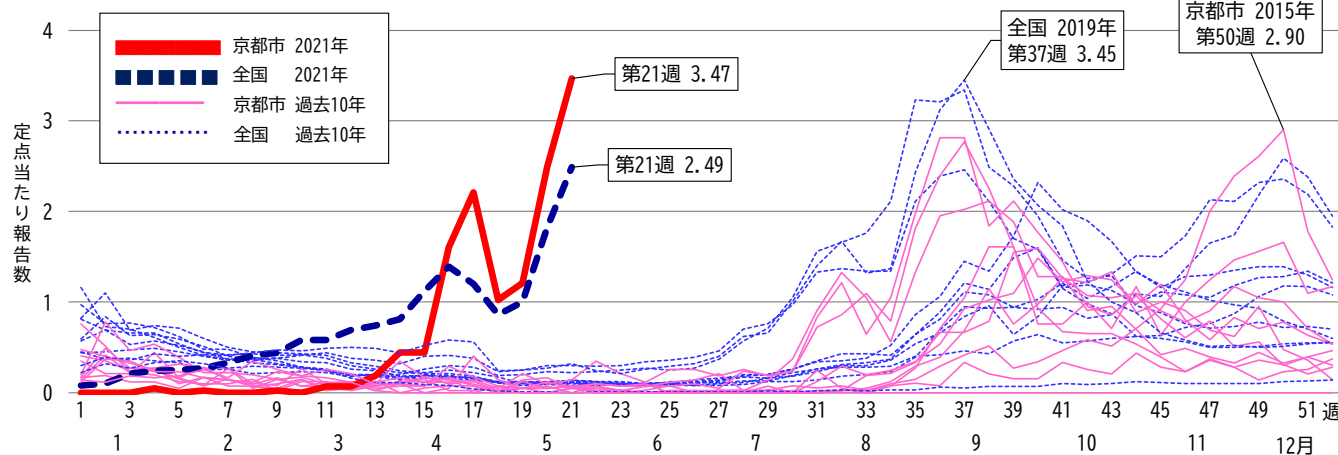
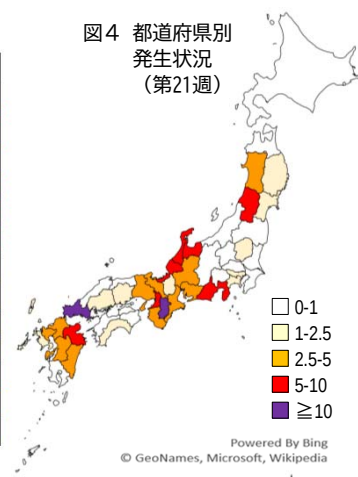


表1 全国の定点当たり報告数(本年に5を超えた週がある府県のみ表示・色分けは図4と同じ)

	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w
山形県	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	0.38	0.83	1.55	2.21	1.90	1.52	3.97	5.10
富山県	-	0.03	-	0.03	0.03	0.07	-	0.28	0.34	0.34	0.90	1.90	1.62	2.93	3.79	5.24	5.45	2.93	2.72	4.79	7.10
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.69	1.10	1.52	1.86	3.21	3.31	3.90	6.72	8.10
福井県	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	0.04	0.09	1.70	1.78	1.70	1.13	5.48	6.87
静岡県	-	-	-	0.01	0.01	0.03	0.09	0.17	0.36	0.65	0.51	0.82	0.66	0.76	1.22	2.14	2.00	1.80	1.74	3.12	5.22
大阪府	0.06	0.17	0.39	0.32	0.46	0.53	0.66	0.75	0.94	1.21	1.48	1.66	1.90	2.08	3.19	3.86	2.98	2.22	2.77	4.13	5.03
奈良県	-	0.15	0.35	0.12	0.09	0.03	0.06	0.09	0.03	-	0.03	-	0.18	0.68	0.79	2.15	3.29	2.03	3.44	9.76	10.65
山口県	0.02	-	-	-	0.13	0.24	0.15	0.07	0.02	0.11	0.26	0.37	0.41	0.61	0.87	1.65	2.65	1.85	2.04	4.40	11.04
福岡県	0.14	0.23	0.72	1.39	1.44	1.68	2.43	2.77	2.90	3.68	3.93	4.68	4.12	4.63	5.83	6.46	4.53	3.22	3.15	4.76	4.74
佐賀県	0.17	0.52	1.65	1.65	1.04	1.39	1.04	1.78	2.70	4.96	4.65	5.35	6.26	6.48	7.52	8.57	5.74	2.26	1.74	4.22	2.91
熊本県	0.20	0.50	1.24	1.50	1.60	2.00	1.60	2.76	3.24	5.24	4.32	4.28	4.76	4.22	4.88	5.76	2.94	1.24	1.56	1.94	2.70
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.03	0.03	-	0.11	0.39	0.61	1.42	1.61	1.31	1.64	3.56	5.17
宮崎県	1.03	1.72	2.44	2.36	2.67	3.53	2.89	3.97	4.42	5.67	4.89	5.22	6.83	8.25	7.08	7.50	4.89	2.50	1.56	3.11	3.61

図4 都道府県別発生状況(第21週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第21週

疾病,行政区別報告数

2021年5月24日～2021年5月30日

データ入手日:2021年6月2日

	インフル エンザ（※ 1）	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎（※ 2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎（※ 3）	感 染 性 胃 腸 炎（※ 4）
男女合計																		
北	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
左京	-	4	-	-	6	-	1	-	2	-	-	-	-					
中京	-	2	-	-	6	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	6	-	-	7	-	-	-	-	-	-							
山科	-	22	1	4	4	2	-	-	1	1	1	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-							
右京	-	58	8	37	20	1	-	-	-	1	-	-	-					
伏見	-	52	6	-	45	2	1	-	1	-	-	-	-					
西京	-	3	1	3	15	-	-	-	2	-	-	-	1					
京都市計	-	149	19	44	107	5	3	-	8	3	1	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※ 1）	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎（※ 2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎（※ 3）	感 染 性 胃 腸 炎（※ 4）
男女合計																		
北	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00					
左京	-	1.00	-	-	1.50	-	0.25	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	0.67	-	-	2.00	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3.00	-	-	3.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	4.40	0.20	0.80	0.80	0.40	-	-	0.20	0.20	0.20	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	1.00	-	1.33	-	-	-	0.33	-	-							
右京	-	11.60	1.60	7.40	4.00	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-					
伏見	-	7.43	0.86	-	6.43	0.29	0.14	-	0.14	-	-	-	-					
西京	-	0.60	0.20	0.60	3.00	-	-	-	0.40	-	-	-	1.00					
京都市計	-	3.47	0.44	1.02	2.49	0.12	0.07	-	0.19	0.07	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年5月24日～2021年5月30日

データ入手日:2021年6月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	149	7	20	48	47	11	13	2	-	-	-	-	-	-	1						
咽 頭 結 膜 熱		19	-	1	11	3	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	1	1	12	11	5	2	4	1	1	1	-	3	-	2						
感染性胃腸炎		107	2	9	16	20	12	7	4	9	4	5	4	7	-	8						
水 痘		5	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	2	-	-						
手 足 口 病		3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		8	-	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	3.47	0.16	0.47	1.12	1.09	0.26	0.30	0.05	－	－	－	－	－	－	0.02						
咽 頭 結 膜 熱		0.44	－	0.02	0.26	0.07	0.02	－	0.02	－	－	0.02	－	0.02	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	0.02	0.02	0.28	0.26	0.12	0.05	0.09	0.02	0.02	0.02	－	0.07	－	0.05						
感染性胃腸炎		2.49	0.05	0.21	0.37	0.47	0.28	0.16	0.09	0.21	0.09	0.12	0.09	0.16	－	0.19						
水 痘		0.12	－	－	－	－	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	0.05	－	－						
手 足 口 病		0.07	－	0.02	－	－	－	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.19	－	0.09	0.05	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.07	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－					
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.10	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年6月2日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		69	95	44	52	110	149
咽 頭 結 膜 熱		3	5	6	11	13	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	43	12	21	42	44
感染性胃腸炎		125	149	89	154	168	107
水 痘		2	3	2	11	9	5
手 足 口 病		2	－	1	3	4	3
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		17	15	10	13	7	8
ヘルパンギーナ		3	－	1	2	3	3
流行性耳下腺炎		1	1	1	1	1	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	3	－	1	1	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		265	314	166	269	358	341

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		1.60	2.21	1.02	1.21	2.56	3.47
咽 頭 結 膜 熱		0.07	0.12	0.14	0.26	0.30	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.00	0.28	0.49	0.98	1.02
感染性胃腸炎		2.91	3.47	2.07	3.58	3.91	2.49
水 痘		0.05	0.07	0.05	0.26	0.21	0.12
手 足 口 病		0.05	－	0.02	0.07	0.09	0.07
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－
突発性発しん		0.40	0.35	0.23	0.30	0.16	0.19
ヘルパンギーナ		0.07	－	0.02	0.05	0.07	0.07
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	0.30	－	0.10	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		6.16	7.53	3.86	6.33	8.40	8.08

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。